

優秀賞

○設計者

芦澤 竜一

- 大阪府建築士会
- 芦澤竜一建築設計事務所



○戸建住宅 (専用)

風の間

- 沖縄県那覇市

選評

今年私が実見した建築では最良のモノであった。大小のスケール、公共・住宅の区分けを外して、断然群を抜いていた。

1. 半径50m圏の既存の自然を含む諸環との共生が意図的である。
2. シンプル極まるコンクリートの躯体の造形と床、および各種建具類の木の多用とその細密な工夫。
3. プリミティブではあるが植生および手製の小さな池、ほかの水との共生への意思が表現されている。

「1」の身近なスケールでの周辺環境との共生意識は最重要な価値である。南側の駐車場の空地はほぼパーマネントなものであり、その空地を上手に取り込んでいる。裏側の坂道および隣家との空間の関係性も良い。つまり抽象的に非ざる、具体性を帯びた隣地との空間がこの住宅によって産み出されている。

「2」、いささかいかつい造形は設計者の体質もあろうが、隣の沖縄特有の墳墓と良い関係を発生させた。頭の中だけではない具体的な地域の伝統と密着し得ている。建具のデザインも工夫に富み、沖縄の伝統と密着している。

「3」、施主の自主製作でもある床下の池ほか、水の配布が良い。さらに4、5作と言わず沖縄あるいは南方アジアでの実作が続けば画期となるであろう。久し振りに感動した。

(石山修武)



A



B



平面図



C



D



E



F



G

- A: 南側外観。駐車場の空地を上手に取り込んでいる。ワイヤーネットによる壁面緑化も実施
- B: 池に面した南側デッキ。子どもたちはデッキに腰掛けて遊ぶ
- C: リビング・ダイニング。建具を開け放つと南北のデッキと一体化した開放的な空間となる
- D: 1階客間。スリット状の開口部をもつ木製建具は折りたたみ開閉式
- E: 2階子ども室から南側テラス方向を見る。深い庇が沖縄の強い日差しを遮る
- F: 2階浴室から北側テラスを見る。雨水を溜める水瓶が涼やかさを感じさせる
- G: 2階子ども室。中央の棚は主寝室と子ども室を緩やかに仕切る役目も担っている

写真撮影：kaori ichikawa

- 構造・階数：鉄筋コンクリート造、地上2階建て
- 敷地面積：210.96㎡
- 建築面積：84.12㎡
- 延床面積：109.13㎡
- 竣工：平成23年9月